



高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)

愛称：**ダブルス 2015-09**

2019年10月決算と運用状況について

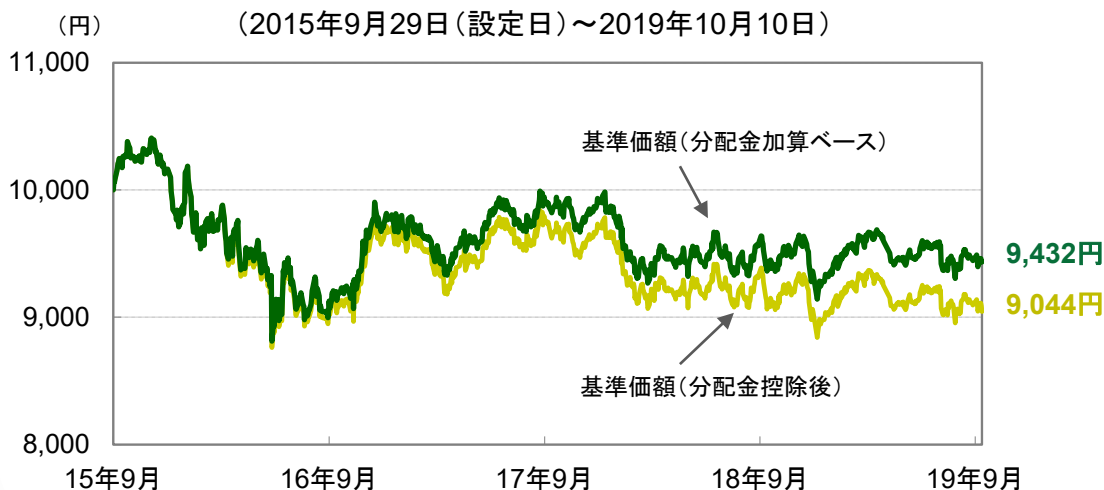
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)／愛称:ダブルス 2015-09」は、2019年10月10日に決算を行いました。

本資料では、当期の分配金についてご報告するとともに、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドのコメントをご紹介します。

設定来の運用実績

＜基準価額の推移＞



設定来の分配金実績(税引前、1万口当たり)

2016年 4月	2016年 10月	2017年 4月	2017年 10月	2018年 4月	2018年 10月	2019年 4月	2019年 10月	設定来 合計
50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円	40円	390円

- ※ 基準価額は税引前、信託報酬(年率1.364%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。
- ※ 分配金加算ベースとは、1万口当たり基準価額と設定来の1万口当たり収益分配金(税引前)累計額との合計額をさします。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)／愛称:ダブルス 2015-09」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## 運用概況と投資国の見通しについて

### 運用概況：債券価格は堅調な一方、為替市場で円高が進行

18年後半の債券市場は、米利上げペースの鈍化見通しを受けて債券利回りが低下（債券価格は上昇）した一方、世界景気の先行き不透明感などから為替市場でリスク回避の円買いが進行し、基準価額は下落しました。

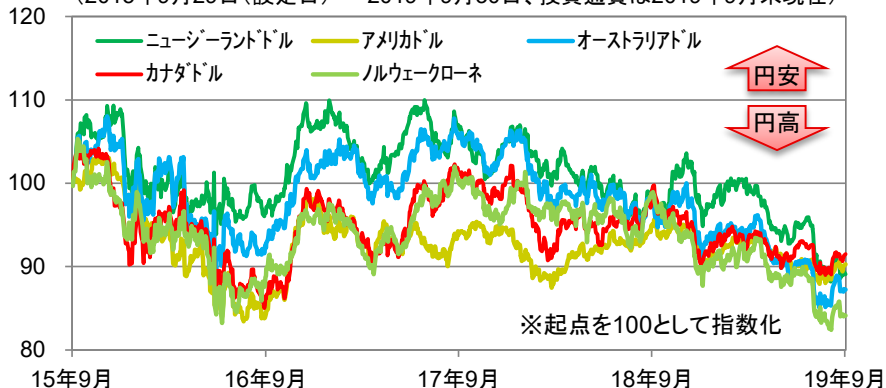
19年に入ると、米国が利上げに慎重な姿勢を強めたことが長期金利の低下圧力となったほか、市場心理の回復から円安が進行し、基準価額は大きく上昇しました。しかし、5月以降は主要先進国で利下げが相次ぎ、長期金利の一段の低下が債券価格を押し上げたものの、米中貿易摩擦の再燃や世界景気の減速懸念などから急速な円高が進み、パフォーマンスの重石となりました。

### 投資国の見通し：引き続き市場動向や各国のファンダメンタルズの変化を注視

- 米中貿易摩擦の影響が懸念される中、米国では7月に続き、9月にも利下げが行なわれました。金融市場には更なる利下げが織り込まれつつありますが、米国経済は依然として底堅く、**足元の景気後退懸念は過剰**であるとみています。また、大統領選を来年に控えたトランプ政権が**対中強硬姿勢を和らげる可能性**があるほか、米中問題に一定の解決の目途が立った場合などには、市場が好感する可能性があります。
- 中国による貿易規制がカナダの輸出に直接的な影響を与えているものの、USMCA(米国・メキシコ・カナダ協定)が批准されれば、**今後の輸出や投資の増加が期待**されます。また同国の**労働市場が堅調を維持していることから、年半ばからの経済活動の改善が期待**されています。
- オーストラリアでは、労働市場の悪化が継続した場合、**一層の金融緩和が必要になる**と考えられます。またニュージーランドでも、世界景気の先行き不透明感と国内経済の成長鈍化を受け、**更なる利下げが行なわれる可能性**があることから、引き続き同地域の経済指標や金融政策を注意深くみていきます。
- 堅調な経済成長を続ける産油国ノルウェーでは利上げが続いたものの、**米中貿易摩擦が原油需要の重石**となり、成長ペースがやや鈍化しています。また、米国のシェールオイルの増産などが原油価格の下げ圧力となる可能性もあり、今後しばらくは状況を慎重に見極める予定です。

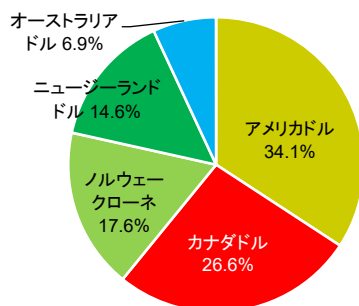
#### <投資通貨(対円レート)の推移>

(2015年9月29日(設定日)～2019年9月30日、投資通貨は2019年9月末現在)



#### <実質通貨別投資比率>

(2019年9月末現在)



※ 上記は当ファンドの対純資産総額の比率です。比率にはその他があるため100%とならないことがあります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付) / 愛称: ダブルス 2015-09」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。